

ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

6月度理事会報告

ジャパングラブ20年の歴史を土台に更なる発展を期すべく 「会の活性化」を掲げ第20回定期総会迫る

ジャパングラブの6月度理事会は6月14日(土)午後4時からサンマテオの榎木マーケット2階で開かれました。ほぼ全員11名の理事が出席され、議題に沿って以下の事柄が討議されました。

議題1. 第20回定期総会について

当日の担当を大隅敏男副会長に総合司会をお願いし、事業報告及び計画案は古田紘一事務局長、会計報告及び予算案を沖山泰彦会計理事、記録(写真)大隅副会長、受付チェックに榎木隆子理事を決定し、それぞれお願いしました。なお、20回の節目の総会ですので渡邊総領事に記念講演を依頼しております、その他大隅副会長の案内で昨年好評だった参加会員の会に対する要望、催事に対する希望等を話し合う時間を総会の最後に加える事になりました。

新会員名簿、緊急連絡網地域名簿等の確認をそれぞれ担当者をお願いしておりました所いくつかの変更、訂正が出て参りました、これらを直した上で総会参加者には当日配布出来る様事務局で準備いたします。

事業報告及び計画に付いては簡単な説明が事務局からなされました、総会ではプリントした物を参加者に配布予定です、同じく会計報告は沖山会計理事からあり、説明されました、此の中でここ数年恒常的に赤字が報告されていますがこれを改善する為に単純に支出を抑え、収入を増やす事を考えなければなりません、支出面では案として事務所の電話を廃止する(現在あまり活用されていない)その他支出、収入両面から催事への参加費の適正化を図り(先に決定された催事参加費の会員、非会員の参加費を赤字にならない様厳正に決める)催事催行に会の負担を少なくする様に努力する。

今年(2014)中に予定されている行事について

定期総会

7月13日(日曜日)サウス・サンフランシスコにあるバスケットコミュニティセンターに於いて開かれます。このニュースレターに出席申し込み用紙及び欠席される会員の為の委任状を同封いたします。一人でも多くの会員の参加を求めます。

ゴルフ大会

右の案内を参照してください

B.B.Q. ピクニック

9月21日(日曜日)例年通りサンマテオのコヨーテポイント・パークで開かれます。詳しくは7及び8月のニュースレター参照。

「税金問題」講演会

10月を予定しています、詳しくは8月のニュースレター参照。

議題2. 創立20年を迎え会の「活性化を図る」取り組み

・**テスラー社の工場見学について**、現在8名の申し込みがあります。第一回目は定員になりました、さらに希望者が有れば再度日程を検討して行ないます。今回は7月2日を見学日として決定いたしました。

・**さくら学園とのコラボレーションについて**、シュミットまり子理事と柏原紀子理事が先方と連絡を取ってさくら学園10周年記念行事への参加を打診する、同時にジャパングラブのB.B.Q.ピクニックへの参加を呼びかける。

・**税金問題講演会については**、今迄集められた質問や提案を元に事務局が講師に会って下打ち合わせを近日中に行ない方向を決める、開催はこの秋10月頃を予定する。

・**活性化の具体的方法について**、難し問題で再三議論されるも決定的な対策案は出て来ていないが、やはり原点は会の活動が魅力的である事が短期的にも、長期的にも重要な事だと思われる、先のアンケートの結果を尊重しその中から希望の多かった事を直ちに実行に移す事が重要と考える。

議題3. その他

今年のグラーゼールは残念ながら不調に終わりましたが、原因については十分に検証し今後の対策を考える事にし、北哲也理事が種々の検討を加えその方針を此れからの理事会で提案する事になりました。

7月度理事会(時間、場所に変更がありますのでご注意ください)

7月度理事会は7月12日(土曜日)桑港寺地階ホール(新年会会場に使われた場所)に於いて午後12時30分より開催いたします。

ジャパングラブ・ゴルフ大会

日時: 7月30日(水曜日)午前10時スタート
9時30分までに集合してください

場所: Willow Park Golf Course

方式: ダブルペリア方式

参加費: \$ 65.00

締切: 7月13日

申し込み・チェック宛先:

沖山泰彦

1564-36th Ave. San Francisco, CA94122

問い合わせ: 沖山理事(415)753-6492



新会員照会

遠藤洋子さん

「ジャパクラブの新年会等に紀子さん(柏原紀子さん)に連れられて何度か出席させていただきましたが、私と同世代の方も多く皆さん和気合々に其の時その時を楽しんでおられたのは感じておりましたが、先日行なわれたガレージセールにお手伝いとして参加した際、上下の隔たりもなく、この日ですて来られた会員の皆さんが同じ目的のため楽しく立ち働いておられるのに感動してこの日のうちにジャパクラブへの入会を申し込みました、今後はどんな形でも私の出来る範囲でお役に立つ様にしたい」と頼もしいコメント。

その洋子さんとアメリカの結びつきについては「少女時代から当時世界の空を飛んでいた“パンナム航空”にあこがれぜひ乗ってみたいと留学を口実に両親を口説いて実現、あこがれの飛行機に乗ってサンフランシスコへ、約2年間学生生活の後一旦帰国したものの今度はサンフランシスコの魅力に魅せられ二度目の渡航、そして結婚今度は生活のため、当時の日本人や日系の人達でにぎわっていたジャパセンターで10年間働き、1992年主人とサウス・サンフランシスコ市内に“ヨーコレストラ”を開店、ここでも日本航空や日通さんに可愛がってもらい主人の病気で閉店する迄の十数年楽しく働きました。2年前主人を亡くしてからはサンフランシスコ市内の自宅で娘さんと二人仲良く暮らしています」との事。

明るい性格と誰とでも気軽にとけ込める人だけにジャパクラブの人気者になる日も近いと思います。

福光哲史(照会文)

今話題の電気自動車

テスラー社工場見学会

かねてより榎木隆子理事が折衝を重ねていたフリーモントにある電気自動車メーカー「テスラー社」の工場見学会が実現する事になりました、つきましては一回のグループは6名程度(それ以上の希望者があれば催行日を数回に分けて開催)平日の午後4時頃からとの制約があります、まず最初の催行予定日は7月始めと決まりました。

既に初回は定員に達しております、興味の有る方が増える様でしたら再度今後の見学会日時を調整します、興味の有る方は事務局迄(電子メール jc-sf@sbcglobal.net) までご連絡ください。



新年度の会員名簿と地域緊急連絡網名簿が出来ました

皆様のご協力を得て訂正、変更等を加えた新名簿(全会員名簿)と地域別緊急連絡網名簿(全7地域)が出来上がりました。

これらは来る7月20日の定期総会の席で会員の皆様に配布される予定です。

今回はジャパクラブ発足20年目の記念すべき総会です、ぜひ一人でも多くの会員のご参加をお待ちしております、そして会員同志の交流を深めてください。

会員からの提案、皆様のご意見もお寄せください

つい先頃まで、私達と一緒にジャパクラブで活躍しておられ日本に帰国された下村昌子さん。50年以上のアメリカ生活でこの地が最期の場所と決められ市民権を取られていたのですが、妹さんとそのご家族の強い要望で日本への定住を決め帰国。直ちに手続きを始めた日本国籍再取得の為大変な苦勞をされているとお聞きしています。

私達の中にも市民権を取られている方も、おられますが下村さんの様な事もあって日本帰国といったケースも出るかも知れませんが、それよりご自分の子供やお孫さんの国籍問題は必ずクリアしなければならぬ問題だと思いますがその障害になっているのが日本とアメリカの二国間の国籍を認めない法律です。

日米の両国民の往来が多くなり、今やグローバル時代と言われている時、両国間の二重国籍は認められても良い時代になっていると思います。

バブル崩壊後、日本人の姿がめっきり減ったサンフランシスコも、現在は国際結婚した日本人女性とその子供さんの姿を多く見られる様になりました、この方達も近い日、必ずや国籍選択で悩まれると思われま。

かつて、外国在住日本人に対する在外選挙権獲得運動に参画し、その実現を果たすのに一翼になったジャパクラブも創立二十周年を迎え記念事業の一環として「会員相互扶助」の目的スローガンに更に「二重国籍容認運動」を加えて運動して行くのはいかがでしょうか。

「二重国籍容認運動」に対する皆様のご意見をお聞きしたいと思ひます、ジャパクラブ事務局迄お手紙で、また電子メールは (jc-sf@sbcglobal.net) までお寄せください。